

第一卷



地方信

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報

第四百六十五號

明治卅八年八月十二日

和歌山縣

公文

○和歌山縣令第三十五號

明治二十八年四月和歌山縣令第十號製造所取締規則左ノ通改正ス

明治三十八年八月八日 和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 敏

第六條中「第三條」ノ下ニ「第五條」ヲ追加ス

明治三十三年八月五日第三種郵便物認可

縣報第四百六十五號

明治三十八年八月十二日

第三種郵便物認可

○和歌山縣訓令第八號

郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場

傳染病豫防ノ爲メ明治三十年三月法律第三十六號傳染病豫防法第十五條ニ依リ常ニ豫防委員
三名以上ヲ置キ檢疫豫防ニ從事セシムヘシ

但市役所町村役場吏員ヲシテ豫防委員ヲ兼務セシムルコトヲ得ス

豫防委員選任ノ上ハ其氏名ヲ本月二十日迄ニ市ハ直ニ町村ハ郡役所ヲ經テ當廳ヘ報告スヘシ其異動アリタルトキハ其都度報告スヘシ
本令ニ抵觸スル從來ノ令違ハ之ヲ廢止ス

明治三十八年八月八日

和歌山縣知事

伯爵 清 棲 家 教

○和歌山縣訓令第九號

郡 役 所
警 察 署
警 察 分 署
市 役 所
町 村 役 場

山口縣ニ於テ徵兵相當所在不明者調査手續左ノ通定メタルニ付右手續第二條第一號ニ依リ調査ヲ囑托セラレタルトキハ之レニ應ジ且第二號ノ該當者アリタルトキハ其ノ通知ヲ爲スヘシ

明治三十八年八月九日

和歌山縣知事 伯爵 清 樓 家 敬

徵兵相當所在不明者調査手續

第一條 警察署長、警察分署長、市町村長ハ其ノ区域内ニ於ケル徵兵相當ノ者及翌年徵兵適齡ニ相當スヘキ者ノ所在不明者ニ對シ毎ニ所在ヲ發見スヘキ必要ノ方法ヲ講スヘシ

第二條 前條ノ方法ニ就キテハ少シモ左ノ二項ニ據ルヘシ

一 区域内ニ本籍ヲ有スル者ハ本人ノ隣佑、親戚其ノ他心當ノ者ニ就キ平素ノ行動行先等ヲ搜查シ其ノ端緒ヲ得タルトキハ必要ノ事項ヲ具シ直ニ當該地ノ警察署長、警察分署長若ハ市町村長ニ對シ調査ヲ囑托スヘシ

縣報第四百六十五號

明治三十八年八月十二日

第三種郵便物認可

三

二 区域内ニ住居シ本籍ヲ有セサル者ニシテ徵兵終決處分未済ノ者若ハ翌年徵兵適齡ニ相當スル者ト思料スルトキハ必要ノ事項ヲ具シ直ニ本籍地ト認定シタル地ノ警察署長、警察分署長若ハ市町村長ニ通知スヘシ但シ炭坑工場其ノ他勞働者ノ集團スル場所ハ特ニ注意スルヲ要ス

(第三條以下略ス)

○和歌山縣告示第百八十號

左記ノ者死亡ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登錄ヲ取消ス

明治三十八年八月八日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 教

那賀郡粉河町大字粉河二千九十番地

開業産婆

山中

○村長及助役ノ異動

日高郡白崎村有給村長	神田 耕一 郎
海草郡鳴神村助役	堀 川 太 助
全郡中之島村助役	小 田 貞 次 郎
全郡之村長	織 戸 孫 之 丞
西牟婁郡三川	家 高 類 之 助
豐原組合村助役	金 崎 和 夫
日高郡東内原村長	

石八月七日認可

○觀 測

明治三十八年八月七日ヨリ三日間當地氣象概況

縣報第四百六十五號

明治三十八年八月十二日

第三種郵便物認可

四

種 類	八 月 七 日		八 月 八 日		八 月 九 日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七五六耗七	七五六耗一	七五六耗四	七五五耗九	七五七耗八	七五三耗六
平均氣温	二七度〇	二八度一	二七度四	二八度八	二六度八	二七度一
最高氣温	三二度二	三〇度五	三三度七	三一度七	三〇度五	二九度六
最低氣温	二一度八	二六度七	二二度〇	二六度五	二二度三	二二度〇
最多風向	北々西	南々西	南 西	南々西	南 西	南
平均風力	二米四	一〇米〇	三米二	八米一	三米七	九米六
天 氣	晴	晴	晴	晴	晴	晴
雨 雪 量	1	〇耗五	1	〇耗〇	1	八耗六
記 事		前日來ノ 強風早曉 歇：午前		夜間微雨 午前十時 及午后二		前夜來ノ 暴風午后 二時歇

